

製品安全データシート

グレード名：

SAK-ZS-TP

作成日：2018年11月27日

改定日：

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：ステアリン酸亜鉛 (Zinc Stearate)
 会社名：株式会社サンエース
 住所：〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津4058
 電話番号：046-285-0826
 緊急時の電話番号：046-285-0826
 FAX番号：046-286-7177
 推奨用途及び使用上の制限：樹脂添加剤 等

2. 危険有害性の要約

GHS分類
 物理化学的危険性：分類できない
 健康に対する有害性：分類できない
 環境に対する有害性：分類できない
 GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル：該当しない
 注意喚起語：-
 危険有害性情報：-
 注意書き：-

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別：工業的単一
 化学名又は一般名：パルミチン酸亜鉛
 別名：脂肪酸亜鉛、パルミチン酸等の混合物亜鉛塩
 化学式：C32H62O4Zn等
 CAS番号：4991-47-3, 557-05-1, 91051-01-3
 官報公示整理番号：2-615
 労働安全衛生法 通知・表示対象物質：ステアリン酸亜鉛 100%
 化学物質管理促進法 (PRTR)：該当なし

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
 皮膚に付着した場合：皮膚を速やかに洗浄すること。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 医師の手当、診断を受けること。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
 目に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。
 眼の刺激が持続する場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
 予想される急性症状及び遅発性
 症状の最も重要な徴候症状：吸入した場合：発熱、咳、呼吸困難、チアノーゼ、化学性肺炎
 飲み込んだ場合：腹痛、吐き気、嘔吐。
 応急措置をする者の保護：情報なし
 医師に対する特別な注意事項：情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
 使ってはならない消火剤：情報なし
 特有の危険有害性：加熱・燃焼時、刺激的な煙や有毒な酸化亜鉛のヒュームを生じる。
 特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
 保護具を着用し、風上から消火に当たる。
 消火を行う者の保護：消化作業の際は適切な空気呼吸器、化学保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 密閉された場所は換気する。
 環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
 漏洩物は粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。
 危険でなければ漏れを止める。
 回収、中和：少量の乾燥した漏れの場合、漏洩物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるく覆いをして漏洩場所から移す。
 大量の場合、水で湿らせ、防護囲いをし、後で廃棄処理する。
 二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策：未設定
 局所排気・全体換気：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
 安全取扱い注意事項：火気注意

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 眼、皮膚との接触を避けること。
 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避：

保管

安全な保管条件：

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。—禁煙。
 酸化剤から離して保管する。冷所、換気の良い場所で保管すること。
 容器を密閉して保管すること。
 施錠して保管すること。

技術的対策：

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、
 照明及び換気の設定を設ける。

安全な容器包装材料：

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

未設定

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：

日本産業衛生学会

吸入性粉塵

2mg/m³

（その他の無機及び有機粉塵）

ACGIH

TLV-TWA

総粉塵

8mg/m³

（その他の無機及び有機粉塵）

10 mg/m³

（IHL）：総粉塵

3 mg/m³

（resp.）：吸入性画分

設備対策：

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置
 したほうがよい。
 空気中の濃度を制御するには一般適正換気で充分である。

保護具

呼吸器の保護具：

適切な呼吸保護具を着用すること。

手の保護具：

適切な手袋を着用すること。

眼の保護具：

眼、顔面用の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策：

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：

固体（白色粉末）

臭い：

情報なし

臭いのしきい（閾）値：

情報なし

pH：

情報なし

融点・凝固点：

110-130℃（融点）

沸点、初留点及び沸騰範囲：

情報なし

引火点：

情報なし

燃焼又は爆発範囲：

情報なし

蒸気圧：

情報なし

蒸気密度（空気=1）：

情報なし

比重（密度）：

情報なし

溶解度：

水に不溶

アルコール・エーテルに不溶

オクタノール/水分配係数：

情報なし

自然発火温度：

情報なし

分解温度：

情報なし

蒸発速度（酢酸ブチル=1）：

情報なし

燃焼性（固体、ガス）：

情報なし

粘度：

情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性：

情報なし

安定性：

この物質は通常条件化では安定である。粉塵爆発を起こす可能性あり。

危険有害反応可能性：

強酸や強アルカリで加水分解される。

強酸化剤と反応する。

避けるべき条件：

高温にしない。粉塵と火種の接触を避けること。粉塵爆発の恐れあり。

混触危険物質：

情報なし

危険有害な分解生成物：

酸化亜鉛、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性：

経口

以下ステアリン酸亜鉛として記載。

ラットのLD50値として、> 5,000 mg/kg との報告（EU-RAR（2009））に基づき、
 区分外とした。

経皮

ウサギのLD50値として、> 2,000 mg/kg との報告（EU-RAR（2009））に基づき、
 区分外とした。新たな情報源（EU-RAR（2009））を追加して、区分を見直した。

吸入（蒸気）

データ不足のため分類できない

吸入（粉じん）

ラットのLC50値（1時間）として、> 200,000 mg/m³（4時間換算値：> 50 mg/L）
 との報告（EU-RAR（2009）、ACGIH（7th, 2001））に基づき、区分外とした。なお、
 LC50値が飽和蒸気圧濃度（9.2×10⁻¹⁴ mg/L）より高いため、ミストの基準値
 を適用した。

皮膚腐食性・刺激性：

ウサギを用いた皮膚刺激性試験2件において、刺激性はみられなかったとの報告
 （EU-RAR（2009）、IUCLID（2000））や、ラットを用いた試験（4時間適用）におい
 て、刺激性がみられなかったとの報告がある（EU-RAR（2009））。ヒトにおいては
 、パッチテストにおいて刺激性みられなかったとの報告がある（EU-RAR（2009））
 。ヒトと動物で刺激性はないとの報告があることから、区分外とした。旧分類に

眼に対する重篤な損傷 ・眼刺激性：	ある情報は具体的なデータではないため削除し区分を見直した。 本物質の原液をウサギに適用した結果、刺激性はみられなかったとの報告が2件ある (EU-RAR (2009)、IUCLID (2000)) ことから区分外とした。情報源を追加し、旧分類にある情報は具体的なデータではないため削除し区分を見直した。
呼吸器感作性：	データ不足のため分類できない
皮膚感作性：	データ不足のため分類できない。なお、ボランティア202人に対して本物質を10%含む物質を適用した結果、感作性がみられなかったとの記載 (EU-RAR (2009)) や、ヒトに皮膚感作性がないとの記載 (IUCLID (2000)) がある。
生殖細胞変異原性：	データ不足のため分類できない
発がん性：	ACGIHでA4に分類されている (ACGIH (7th, 2001)) ため、分類できないとした。
生殖毒性：	データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)：	データ不足のため分類できない。なお、旧分類の「ヒトで気道刺激性の可能性が記載されている (ACGIH (7th, 2001)、EU-RAR (2004))」については、確認の結果、ACGIH (7th, 2001) で、Stearates (ステアリン酸塩) 全体として、ヒトで気道刺激性の可能性が記載されているが、本物質についてはEU-RAR (2009) で、「腐食性、刺激性がない」と記載されており、旧分類の知見は不採用とした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)：	本物質反復ばく露による有害性に関する知見は、ヒト、実験動物のいずれもない。したがって、データ不足のため分類できない。なお、亜鉛を硫酸亜鉛又はグルコン酸亜鉛として摂取したヒトで、頭痛、吐き気、胃の不快感などの消化器症状及び銅欠乏を示す臨床検査異常 (血清セルロプラズミン及び赤血球のSOD活性の減少) を生じたが、貧血など赤血球の機能に影響を及ぼすことはなかったとの記述がある (EU-RAR (2009))。
吸引性呼吸器有害性：	データがなく分類できない
1 2. 環境影響情報	
水生環境有害性(急性)：	甲殻類 (オオミジンコ) の48h EC50 > 100 mg/L、魚類 (ゼブラフィッシュ、ブルーギル) の急性毒性試験において水溶解度あるいは水溶解度を3-4オーダー上回る設定濃度において影響が見られない (EU-RAR, 2008) ことから、区分外とした信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急性毒性が区分外、難水溶性 (水溶解度=0.97mg/L、EU-RAR, 2008)、急速分解性がない (OECD TG 301Dによる28日間の分解度試験による分解度：5% (EU-RAR, 2008)) もの、生物濃縮性が低いと推測される (log Kow = 1.2 (EU-RAR, 2008)) ことから、区分外とした。
水生環境有害性(長期間)：	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
オゾン層への有害性：	
1 3. 廃棄上の注意：	
残余廃棄物：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。スプレー缶を廃棄する場合は、自治体により廃棄方法が異なるので該当する自治体の規定に従うこと。
1 4. 輸送上の注意	
国際規制	
陸上規制情報：	該当しない
海上規制情報：	該当しない
航空規制情報：	該当しない
国内規制	
陸上規制情報：	該当しない
海上規制情報：	該当しない
航空規制情報：	該当しない
特別の安全対策：	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号：	該当しない
1 5. 適用法令	
労働安全衛生法：	名称等を通知・表示すべき有害物 ステアリン酸亜鉛
労働基準法：	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法)：	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない
水質汚濁防止法：	指定物質 (法第2条第4項、施行令第3条の3) 【5 4 亜鉛及びその化合物】
大気汚染防止法：	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中央環境審議会第9次答申) 区分内番号1 適用条件：排気 【1 亜鉛及びその化合物】
土壌汚染防止法：	該当しない
船舶安全法：	該当しない
航空法：	該当しない
1 6. その他の情報	
記載内容の取り扱い	記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づいて、当該製品の取り扱い使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩の処理等を安全に行なうていただくために作成

されたものであり、情報はいかなる保証をするものではありません。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。

- 参考文献
- 1) 厚生労働省 職場の安全サイト モデルSDS
 - 2) NITE 化学物質総合情報提供システム
 - 3) NITE 政府によるGHS分類 (2018年7月更新分)
 - 4) 日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 2018年版
 - 5) United States Department of Labor : Occupational Safety and Health Administration
 - 6) 原料メーカーSDS
 - 7) LOLI Desktop